第6学年4組 国語科学習指導案

平成19年11月28日（水）第5校時
指導者 大塚智子
場所 ランチルーム

1 単元名 自分の考えを明確にしてプレゼンテーションをしよう

2 教材名
・中核教材「自分の考えを発信しよう」（光村図書 6年下 教科書教材）
「平和のとりでを築く」（光村図書 6年下 教科書教材）
・自作のワークシート
・NHK放送ビデオ

3 単元の構想

児童の実際
・読むことでは「生き物はつながりの中に」（説明文）で構成に着目し、文章を要約したり要旨を捉えたりして大きく、筆者の意図を十分に伝えるためには、書き方も重要だということも同時に学んできた。
・書くことでは、「ガイドブックを作ろう」において、相手や目的を意識して要約したり構成や記述方法を工夫したりして書く姿が見られた。また、交流会を行うことで読み手を引き付けるための構成の工夫等を学ぶことができたので、今後も活用することで習熟を図る必要がある。
・話すこと・聞くことでは、「学級討論会をしよう」で、自分の意見を主張するために、根拠となる事実を明確にすることや、効果的な構成・展開の工夫について力を付けてきている。

教材の特性
・「自分の考えを発信しよう」では、自分のテーマに関わる多様な材料を集め、それをもとに自分の考えを深め外部に発信することで、表現能力を高めることができる。
・「平和のとりでを築く」では、筆者の伝えたいことが凝縮されており、後世までの人々に平和への意志を集めたシンポリであり続けることを確信する筆者の見方・考え方を読みとることができる。
・プレゼンテーションをして自分の考えを発信するという言語活動を行い、そのための意見交流を設けることによって、目的・相手意識をしながら読んだり話を聞き取ることを活用し、効果的に自分の表現に生かしていく過程を大切にすることができる。

プレゼンテーションの効果と構想
ビジュアルな資料を使ってプレゼンテーションを行う目的は、相手の理解を助ける、興味をわがる、記憶に留める、そして、時間を節約し効率化することにある。このことから下記の構想を踏まえ、伝えることが相手の心に響くためのプレゼンテーションを設定することとした。

読むこと（資料）
・要約・引用・抜粋

書く活動
・スピーチ原稿
・提示資料

話すこと・聞くこと
プレゼンテーションとする
・資料を生かして自分の考えを伝える。

—高１—
主導的な言語活動
プレゼンテーションをして、他学級の友達に伝える。
・テーマについての資料を理解・評価しながら話し。
・構成を考えたり表現の工夫をしたりしてシナリオを書く。（自分の考えをしっかりもっと）
・考えを深め、効果的な表現の工夫をするために意見交換を行う。

言語活動を通じて付けたたい力

語彙力
・自分の考えを伝えるために適切な言葉を選ぶ力

読む力
・目的に応じて的確に読み取る力

表現する力
・自分の考えを明確に伝えるための文章の組立てを考える力
・互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力

5つの言語意識
相手意識・他学級の友達に、自分の考えを明確にして発信する。
目的意識・プレゼンテーションを行い、自分の考えや思いを共感してもらえるように伝える。
場面・状況意識・他学級の友達に対し、グループに分かれてプレゼンテーションをする。
方法意識・効果的な発信するために、文章構成や文末表現を工夫してスピーチ原稿を書く。
また、提示する資料を工夫する。
評価意識・プレゼンテーションの内容や思いが明確に伝わったか。（自己評価・相互評価）

4 研究テーマとの関わり

研究仮説
①児童の興味関心を生かし、言語意識が高まるような単元構成を工夫すれば、一人ひとりが自分の考えを表現しようとする意欲が高まり、進んで活動することができる。
②言語活動やマニュアルなどを生かしたモデル学習を活用することで、児童が課題や見通しをもっと主体的に学習に取り組み、自分の思いや考えを自信をもって表現することができる。

研究の視点
①相手意識、目的意識を重視した単元構成の工夫
②モデル学習、言語活動のマニュアル、著活動の効果的な導入
③付けたい力の明確化（指導と評価の一体化）

具体的な手立て
・発信者の意図がよく分かるプレゼンテーション（モデル）の提示
・図書館利用や取材により、自己テーマに関わる事実や内容理解の読み取り
・効果的に表現するためのワークシートの工夫
・伝え合う力を育むためのチーム協力・共同の実践
・自分の考えと友達の考えを交流させる相互評価の場（意見交換）の設定
・主体性や自主性を発揮するための児童による司会進行
5 単元の目標と評価規準
(1) 自分の考え・思いを伝えることに関心を持ち、プレゼンテーションをしようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
(2) 話の意図や自分の考えを明確にしながら話したり聞いたりすることができる。
(話すこと・聞くこと)
(3) 目的意識をもって、自分の考えをまとめて話すことができる。
(語ること)
(4) 語彙や言葉の効果的な使い方について理解することができる。
(語彙・語法)

<table>
<thead>
<tr>
<th>単元の評価規準</th>
<th>ア国語への関心・意欲・態度</th>
<th>イ 話す・聞く能力</th>
<th>エ 読む能力</th>
<th>オ言語についての知識・理解・技能</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>・自分の考えや思いを伝えることに関心をもち、進んで活動に参加しようとしている。</td>
<td>・伝えたいことやその意図が伝わるよう、発信の仕方を工夫している。</td>
<td>・目的意識をもって読む、自分の考えをまとめながら読んでいる。</td>
<td>・語彙や言葉の効果的な使い方について理解することができる。</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

学習活動における具体的評価規準
1) 目的に応じて、必要な材料を進んで集めようとしている。
2) 聽き取ったことをもとに考えを広げようとしている。
3) 友達のプレゼンテーションに関心をもち、計画的に話しあおうとしている。

6 指導と評価の計画（14時間扱い） 本時 12／14時 （仮説に関わる箇所はゴシック体）

<table>
<thead>
<tr>
<th>次 時</th>
<th>●主な学習活動・学習内容</th>
<th>○指導上の留意点・評価規準・方法</th>
</tr>
</thead>
</table>
| 第一次 | ●これまでの学習を振り返り、本単元の課題をつかむ。
・「自分の考えを発信しよう」と読み、単元課程にせまること。
・発信方法の手段としてプレゼンテーション（モデル）を視聴し、そのように気づくこと。 | 関②
○発表内容の確認観察
○態度の観察
○自分が最も友達に伝えたいことを明確にする |
<table>
<thead>
<tr>
<th>第一次</th>
<th>2</th>
</tr>
</thead>
</table>
| 講題を明確にして単元の学習計画を立てること。

自己の考えを明確にしてプレゼンテーションをしよう。

学習のめあてを明確化する際に留意する視点として5つの
言語意識をもたせる。

（1）相手意識・他学級の友達に、自分の考えを明確に
して発信する。

（2）目的意識・プレゼンテーションを行い、自分の考
えや思いを共感してもらえるように伝える。

（3）場面・状況意識・他学級の友達に対し、グループ
に分かれてプレゼンテーションをする。

（4）方法意識・効果的な発信するために、文章構成
や文末表現を工夫してスピーチ原稿を書く。
また、提示する資料を工夫する。

（5）評価意識・プレゼンテーションの内容や思いが明
確に伝わったか。 (自己評価・相互評価)

「平和のとりで築く」を読んでプレゼンテーションを
してみよう。

●自己なりのプレゼンテーションを作るために「平和のとり
で築く」を読み取る。

「平和のとりで築く」をもとにした教師のプレゼンテーシ
ョンの視聴。

・原爆ドームの足跡や世界遺産になるための条件（事実）を知
り、平和に対する自分の考えをもつこと。

●読み取ったことをもとに、スピーチ原稿・資料作りを行う。

情報・資料の収集と分析を行い効果的な表現。

（例）「原爆ドームを残すことは、悲惨な過去を引きずっ
てしまうように思えたが、少女の言葉のように二度
と繰り返してはいけないことを後世に伝え続けてい
くためには残すべきだと思っていた。」

●プレゼンテーションをする。

スピーチ後、自分の思いが友達に共感してもらえるか、ま
たプレゼンテーションとして話し方はよかったか意見交換
を行い効果的なプレゼンテーションを知ること。

・相互評価・自己評価

（例）「相手を意識をするために、できるだけ原稿から目
を離したほうがいいと思う。」「事実がよくわかり、自分の考えや思いも説得力が
あり十分伝わった。」
効果的なプレゼンテーションとなるように、伝えたいことを明確にしてスピーチ原稿をまとめよう。

●テーマを決め、図書資料やインターネットを使って調べたリインタビューをして情報収集等を行う。

(提示の観点)
・友達に伝えたい・大切なことをわかってもらいたい
・考えることがある・守っていくべきもの
→(例)身近なこと、平和について、環境問題、人権問題、言葉の大切さ

・発信内容を明確にするために文章構成を考え、調べたことを取捨選択する。
・情報・資料を収集し、実事にもとづいた自分の意見をもつ。

●資料提示を考慮したスピーチ原稿を書く。
・聞いかけ・発信したいと思った動機・事実にもとづいた自分の考えや思い等、効果的な表現方法の工夫を考えたまとめ方。
・聞き手の興味を引く資料(準備・作成)
・効果的なプレゼンテーションの方法を考えた、原稿の見直しや練習。

(効果的なプレゼンテーションのポイント)
①発表の動機は具体的か
②資料提示方法はよいか
③説得力のある話し方ができているか
④内容(事実や考え・思い等)がしっかり伝わっているか

よりよいプレゼンテーションにするための意見交換をしよう。

●プレゼンテーションを行い、効果的な表現をめざし意見交換をする。
・立場や発信の意図・考えを明確にした話し方。
・聞き手との言葉の交換。
・内容に対する共感判定とプレゼンテーションをよりよくするためのアドバイス等、意見交換。

(例)「～を大切にしていきたい気持ちはよくわかったが、情報をまだ不足しているように感じたので、人々のインタビューをに入れると情報や人々の意識がよく伝わると思う。」
「資料の提示はよかったが話し手の話し方によって注目しづらいので、伝えたいポイントがよくわかるのではなかっただろう。」
・自己評価・相互評価

●よりよいプレゼンテーションにするための原稿修正と練習を行う。

関 ① 読 ①②
・書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押え、自分の考えを明確にしながら読んでいるかワークシートで確認する。
○発信の動機・事実・考え等区別しワークシートに記録させる。

関 ②③
話開 ①②③
・態度の観察
言 ②
○ワークシートの内容
・態度の観察
○発信の効果的な方法として、最も伝えたい言葉(キーワードとなる言葉)に気づかせ、意識して原稿の見直しや練習を行うようにする。

関 ②③ 語 ①②
話開 ②③
・発表内容の確認観察
・意見交換の観察
・ワークシートの内容
○差別での意見交換では、ワークシートを利用し、聞き手も意見が明確になるように記録させる。

話開 ①②
○本番では、発信の相手
7 本時の学習指導（12 / 14 時）

（1）目標
効果的なプレゼンテーションを行うために、意見交換のポイントをもとに話し合うことができる。

（2）評価規準

<table>
<thead>
<tr>
<th>ア</th>
<th>国語への関心・意欲・態度</th>
<th>イ</th>
<th>話す・聞く能力</th>
<th>オ</th>
<th>言語についての知識・理解・技能</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>応条件をもとに考えを広げようとしている。</td>
<td>②</td>
<td>表現を工夫して自分の思いが伝えられるようにプレゼンテーションしている。</td>
<td>①</td>
<td>目的や場に応じた適切な言葉遣いで話している。</td>
</tr>
<tr>
<td>③</td>
<td>友達のプレゼンテーションに関心をもち、計画的に話し合うようとしている。</td>
<td>③</td>
<td>目的意識をもって友達の考えを聞き、効果的なプレゼンテーションとなるようアドバイスをしている。</td>
<td>②</td>
<td>心に残る言葉などを見つけ、理解して適切に活用している。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（3）展開

前時学習内容：効果的なプレゼンテーションを行うための原稿見直しと練習。

<table>
<thead>
<tr>
<th>身に付けさせたい力（学習内容）</th>
<th>指導と評価の創意工夫</th>
<th>時</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>言語活動</td>
<td>言語能力</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>1. 本時の学習課題を確認し、進め方を知る。</td>
<td>*司会者を設定することで児童がより主体的に学習に参加しやすいようにする。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>学習のめぐりの確認</td>
<td>*他学級の友達に自分の考えを発信するための本時のめぐりと進め方を確認し、学習への見通しと意欲を図る。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>よりよいプレゼンテーションにするための意見交換をしよう。</td>
<td>*よりよい表現方法については、モデルのプレゼンテーションを想定させる。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>進め方</td>
<td>*提案者は、テーマと自己のめぐりを事前に知らせてから聞き手に興味と評価の観点をもたせるようにする。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(1) プレゼンテーションを行う。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(2) アドバイスカードを配る。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(3) 判定と意見交換（判定理由とアドバイス）をする。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(4) ～(1) (2) (3) を繰り返す～</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>意見交換のポイント</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>①発表の動機は具体的だったか。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>②資料提示方法はよかったか。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>③話し方に感動があったか。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>④事実や考え・思いがしっかり伝わったか。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
2. 項別にプレゼンテーションを行うため、判定理由やアドバイス等の意見交換を行う。
(1) 意図を明確にしたプレゼンテーションを行う。
(2) 「意見交換のポイント」を参考にしてアドバイスカードに記入する。
(3) 提案内容に対する判定とよりよいプレゼンテーションとなるための意見交換を行う。
・班で最も効果的なプレゼンテーションを行ったパワを話し合いで選ぶ。
3. 効果的なプレゼンテーションができたパワを報告し合い、全体で確認する。
・推薦理由の説明
・代表児童によるプレゼンテーション
4. 自己評価をして次時の学習確認を行う。
・自分の考えを明確にして意見を述べる力
①適切な内容の選択
②効果的な発信言葉の選択
(例)「・(最も伝えたかったキーワードの言葉を繰り返す)」
③受信者を引き付ける資料提示と表現の工夫
(例)「みなさんは、この資料を見て何か疑問をもちませんか。」
・友好のプレゼンテーションのよさや課題を見つける力
→意見交換で悩んでいる児童には、意見交換のポイントを想起し、観点にそってアドバイスできるように助言する。
・代表児童のプレゼンテーションから具体的なよさを確認することで、個々のプレゼンテーションに生かせるようににする。
・推奨者から出された具体的なよりよい表現方法は、視覚的に取り入れやすいように教科書に書きまとめる。
・意欲的な児童を賞賛し、他の児童に広め、本講で気づいた自己課題に余計、よりよいプレゼンテーションにするための意欲を高める。
8. 備考
男子 18名 女子 15名 計 33名

9. 資料

① 本時板書計画

よくよいプレゼンテーションにするための原稿修正と練習。

次時の学習活動 よくよいプレゼンテーションにするための原稿修正と練習。